

オンリーワン技術で変革を続ける 歯車&動力伝達装置の専門メーカー

大久保歯車工業株式会社



代表取締役社長
大久保 利昭氏

長寿の秘訣 ▶ 高精度歯車加工技術をベースにした製品開発力 一人ひとりの社員を大事にする家族経営的社風

企業に浮き沈みはつきものである。国内外の大手企業を顧客にする部品メーカーはなおさらだ。戦前から一貫して歯車を製造してきた大久保歯車工業株式会社も例外ではない。建設機械、トラック、工作機械といった大手顧客を相手に巧みに事業を変化させ、80余年の歴史を刻んできた。高精度の歯車加工技術をベースに数々の変革を成し遂げ、誇りと団結で歩みを進める同社の有り様は、日本のモノづくりを支える部品メーカーの典型でもある。

創業は1938（昭和13）年、当時呉服屋を営んでいた創業者の大久保利家氏が、上得意の鉄工所の経営に肩入れし、同社の再建に乗り出したのが始まりだ。技術の習得と積極的な設備投資で瞬く間に歯車メーカーとしての一貫生産体制を確立。大手重工メーカーの協力工場になる一方、戦後は建機用やトラック用の歯車受注を拡大するとともに、1960年の国内初

のガス浸炭焼入炉導入や、66年の厚木工場完成などを通じてメーカー基盤を整えていった。

◎歯車単体から組立品へ

しかし歯車単体を供給しては、価格競争や顧客企業の内製化リスクを避けられない。ある部品の取引規模が一定量に達すると、セットメーカーの多くは複数社発注や自社生産に切り替える。「このままでは成長できない」と判断した2代目社長の大久保利和氏は、部品単体から組立品の受注に活路を求めた。折しも、顧客のトラックメーカーの設計部長を招き入れることに成功。自社開発部を新設してパワートレイン（動力伝達装置）全般の知識を習得し、ここから生まれたのが、のちの同社の主力製品になったアクスル（車軸）や遊星減速機といったコンポーネント製品だ。



新製品の高速クローラ用トランスアクスルを搭載した車両



安全への取組みと従業員の働きやすさなどが評価され、神奈川県優良工場表彰を受賞

その後も着実に設計開発力を積み重ね、アクスル、減速機にトランスミッション、カム製品と組立完成品の範囲を拡大し、なかでもカムを用いた工作機械用のATC（自動工具交換装置）は、後発ながらもトップシェアを獲得。アクスル、減速機などと並ぶ主力製品に成長を遂げている。上がり下がり激しい受注状況に対応しつつ、歯車とカム技術を土台にした製品開発・設計力を強みに製品の幅を広げてきた大久保歯車工業。今ではトラック、建機のほか農機、工作機械をはじめとする多様な顧客の新製品開発段階から加わり、最適な製品を供給できるパートナーとして活躍している。

2001年から同社を率いる現社長の大久保利昭氏は、「バブル崩壊後の赤字続きなどいろいろあったが、自分は大したことはしていない。現場を大事にしてきただけ」と、淡々と語るが、2022年5月期は過去最高の売上規模に迫る勢いにある。それでも「今なお繁閑の差は大きく、その舵取りは容易ではない」とし、歯車ベースのオンリーワン技術を活かした新事業開発に力を入れている。すでに車両メーカーと共同で、時速30km走行が可能なハンドル操作のゴムクローラ車両を開発。まずは災害救助などの用途で年内の商品



社内イベントで、社員、家族、地域との交流も活発的な会社化を目指す方針だ。

◎社員の会社愛と団結心

2015年、創業100周年に向けて、会社の普遍的な指針となる「大久保の羅針盤」をまとめた。組合も巻き込んだプロジェクトチームで社是、基本理念、行動指針を策定した大久保社長は、「社員が安心して働ける環境づくりが何より大切」と強調し、「呉服屋時代の家族主義的経営を引き継いでいるから、社員と家族を大切にできる社風が定着している」とも。実際に「うちの息子を入れてほしい」と言ってくる社員や、親子、兄弟の社員も珍しくない。人手が足りないとなれば、すぐにOBが応援に駆け付ける。そんな社員の会社に対する愛情と団結心が、歯車一筋で歴史を重ねる同社の隠れた力と強みに違いない。

経営理念

<社是>
私たちの まごころこめた歯車で 世界を大きく動かそう。
<基本理念>
私たちは人と人とのつながりを大切にし、限界を破る結集力と独自技術の創造で、夢を、喜びを、世界中のお客様と分かち合う。

会社概要

創業：1938（昭和13）年2月
設立：1947（昭和22）年11月
所在地：神奈川県厚木市上依知3030番地
資本金：1億円
従業員数：540名（2022年1月末現在）
事業内容：各種歯車、カム、アクスル、トランスミッション、トランスファー、遊星減速機、ATC、PTO等の設計開発、製造、販売



左記のQRコードを読み込んで「COCOAR」アプリ（無料アプリ）をインストールした後、アプリを起動し、画像にかざしてスキャンすると関連動画がご覧いただけます。

●有効期限：2022年3月31日より2年間